

中途半端な文学少女だったわたしは、小学校高学年から中学にかけて、父親の書庫にもぐり込んで本を読み漁った。「これを読め」という人もいなければ「読むな」という人もなく、ただ自分の勘だけを頼りに面白そうな本を濫読した結果、何の教養も身に付かなかった代りに、いろんな作家の文体やリズムが、本能的に感じ取れるようになったと言えどもいい。

一九四〇年代、父の書庫にあった作品といえは小説やエッセイにしても翻訳にしても、今の感覚から見ると硬質というか格調の高いものが多い。ちゃんと理解していたかどうかは疑問だけれど、一応、好き嫌いは生意気にはつきりして、その時の尻尾を今でも引きずっているような気がする。オスカー・ワイルドやアナール・フランス、芥川龍之介や井伏鱒二にもその頃出逢った。

疎開したり、終戦後わりに入った高校に入学して読書の量は半分減ったと思う。それでも人見知り、何一つ得意なものを持たない女の子は、目的もなく手当たり次第に読みふけるしかないのだった。そして高校を卒業するといつ時、何となく舞台装置に興味を持って文学座付属演劇研究所という所に入る。芥川比呂志、加藤道夫さん達が中心の講師だった研究所では、演劇の奥の深さ、面白さ



Design by Paul Gray (部分)

# 朗読をめぐって

岸田今日子  
Kyoko Kishida

跳び、廻り、太鼓を打ち鳴らすのを、わたしはたしかに見た。方言があんなに美しく何かを形造ってくれるとは知らなかった。

人たちがいて、若い新しい詩人の作品ばかりを取り上げる番組があったり、たぶん聴取率なんか無視されていたのだらう。

文学座にはアトリエと名付けられた、意欲的な舞台を創ろうとする小劇場が誕生して、芥川さんが朗読会を始めようとしていた。三回位、続いたのだろうか。わたしも中や朔太郎を読んだ。これが舞台で読む最初の機会だった。

あれから四十年以上経って、ラジオドラマなどというものは絶滅に近い。何か作品をラジオで朗読することも一年に一度、あるだろうか。その代り、という言い方はおかしいけれど、教科書や本につけるソノシート、テープ、CDと時代は移って行った。そして舞台で読む機会は増えたかもしれない。「朗読」を自分でしてみたい、聴いてみたいと思う人も増えたよ。だ、「読み聞かせ」を、子どもたちにしてあげる人も含めて。それは殆ど女の人で、こうした形で自己表現する気持ちは、とてもよく解る。

眼で読んで好きだった作品を声に乗せるのは、戯曲の中で一つの役を演じるのと又異なった喜びがある。朗読は演じるわけではない。どこまでも自分自身が、この作品をどう読んだか、聴く人に伝えるというところから、ある意味では、その人が全部出してしまうと云えるかもしれない。だから怖い反面、速さリズムも間も、全部自分だけで作って行く面白さがあるのだ。そしてわたしは昔の濫読が、この世界の中でやっと少し役に立つような気がした。本を渡されて殆どどっけ本番で読むといつ時、その作品の息遣いが何となく体で解るみたいな感じ。それは自分だけの思い込みかもしれないけれど、

が熱っぽく語られていた。わたしはそこで初めて「朗読」というものを知ったと思う。それは学校で教科書を「読んでごらんさい」と言われて読むのとは大分違って、長岡輝子先生が宮沢賢治の「鹿踊り」をお読みになった時、わたしは呆然とした。今、長岡先生の賢治は定評があるけれど、もしかしたらわたしたちは、その殆ど最初の聴き手だったのではなからうか。「鹿踊り」というものを見たこともないのに、あの焼跡に建ったバラックの研究所の中は月明りに満ち、鹿の角を象った胃をかぶった踊り手たちが、すすきの穂の中で

ちよつとスリルがあつてなかなか楽しいものだった。好きな作品を読むうちに、だんだん惹き込まれていつか酔ってしまいそうになることがある。そして、わたしは作者ではないのだと、一歩手前で踏み止まる。自作朗読だったらどんな読み方をしてもいいと思う。でも人の作品は、やっぱり感傷を排して一種禁欲的というのが、客観的に朗読したいと、わたしは思っている。その中でどれだけ、その作品の持つ魅力、雰囲気、伝えられるかという賭けのよくなものが、朗読の身上ではなからうか。

そんな意味も含めて、わたしはBGMに乗せて読むのはあまり好きではない。もちろんその作品のために作られた曲で楽器とのジョイントをするのは別だ。三年前からピアノニストの館野泉さんと組んで、「音楽と物語の世界」というジョイントコンサートを開いている。ピアノと朗読が同じ重さで、わたしも全く傾向の違う作品を三つずつ読むことになつて、かなり冒険でもあり、刺戟的なライブだ。時々レパートリーを変えながら、もう二十数回のステージになった。時に音楽の力を借り、時に切り返しながら読んで行く。今年も賢治の「よたかの星」に間宮芳生さんが曲を付けて下さることになっている。

何年か前から、自作のエッセイやショートショートをフットと組み合わせたコンサートもやってみた。谷川俊太郎さんと、二つの違う詩を同時に二人で読む「ステレオ朗読」というものを開発したりして、何だかまだまだいろいろなことが出来そうな魅力が、朗読にはあると思つている。

(筆者：女優)

## 愛書狂

日本の古書にはなくて、洋古書にだけ必要なものに、メテナスという要素がある。つまり、革装丁の洋古書はメテナスを怠ると、かならずや、その価値を減らすといふことである。パリやロンドンの古書店をのぞくと、よく店員が革装丁の本にグリースを塗りこんでから布でていねいに磨きあげている光景にぶつかると、これは、革装丁の本を美しく見せるという美学的な理由のほかに、脂塗りを怠ると、高級な靴や鞆と同じく革が乾燥してひび割れてしまふおそれがあるためである。ヨーロッパにおいて、本は本質的に「革製品」なのだ。高級な古書店に入ると、独特の匂いがするのはこのグリースのせいである。私は、東京で暮らしたことのあるパリの古書店の主から、革装丁の本を日本に持つてかえるつもりなら、専用グリースは是非とも必要だといわれた。東京では、夏の湿気も革装丁本には良くないが、冬の乾燥はそれ以上に危険なのだそう。比較的、雨の多いパリの冬よりも、降雨量の少ない東京では乾燥の度合いがちがうといふのである。しかし、日本に着いてまもなく、私は冬の乾燥よりもさらに危険なものがあることに気づいた。密封したマンションにおける冬の結露である。これは革装丁の本に水気をたっぷりと含ませるばかりか、カビを発生させるという点で、致命的なものである。マンションに在る限りどれほど換気に気をつけても結露を防ぐことはできない。解決策はただ一つ、窓にすべて二重ガラスを使った一戸建てに住むしかない。かくして、私は革装丁の本のために、わざわざ家を新築するはめになつてしまつた。いまから十三年前のことである。(鹿)

# こだわりの楽しみ

「知らない町角」

和田 誠著



好評の『指からウロコ』につづ

著を傾ける。

監督最新作「真夜中まで」の制

作裏話も含めて映画通ぶりを発揮

したかと思えば、逆ってしまった

人たちが、痛切な哀悼の気持ち

を吐露する。

一読して楽しい「和田ワールド」

を堪能することができるが、同時

にそれを支える「こだわり」の強

さに、読者は驚かされ、舌をまく

ら聞き惚れた曲を紹介しながら纏

る。

家族にしか

見せなかつ

た、昭和の俳

聖・石田波郷

の素顔を、息

子の視点で探

った十二の物

語

結核のため、胸部成形手術を受

けて肋骨を切除した波郷が、「銭

湯に行こう」と著者を連れ、「背

中を洗え」と言っ見てきた大きな

傷跡のこと。

戦後の冬、食糧を賑わした波郷

直伝の「豚鍋」。豚肉と白菜だけ

を柚子醬油で食べる簡単な料理

が、鍋奉行の波郷の手つきととも

に著者の忘れられない味になっ

てきた。

豊かだった波郷の黒髪も、五十

代を過ぎて細く柔らかくなり、青

年時代のように顔に垂れることも

なく、それを掻きあげる癖もなく

なっていました。

砂町からの引越先を物色し

ていたころ、同郷の出身だと名乗

る男から土地を紹介されたもの

の、結局詐欺に引っかけられてし

まったこと。

波郷の葬儀に、目立たぬように

挨拶をせずに帰った女性がいたこ

と。

その女性はかつて波郷と深い

縁があったらしく、二人の間には

子どもがいたこと。しかしそれは

現在の著者にとって、若き日の波

郷の恋物語として、ほほえましく

思えること……

静かに父を見直そうとしながら

も、時には激しい、時には懐しい

思いが、美しく、端正な文章のす

みずみから流れてくる。

まるで十二の良質な短篇小説を

ラストレーターだからこそ、グラ

フィック・デザインナーだからこ

そ、こぼにこだわるといふ姿勢

を述べるくだりがそうだ。

「新しいカレンダーをめくると

明日がくる、知らない町角を曲が

るとだれかに会える」といっ、そ

んな希望を抱かせるような一冊で

ある。

（四六判 二六二頁 本体一八〇

〇〇円）

【和田誠の本】

『こぼの波止場』 本体二六二頁

『指からウロコ』 本体一八〇〇円

『装い物語』 本体一八〇〇円

『似顔絵物語』 本体一七〇〇円

と。

その女性性はかつて波郷と深い

縁があったらしく、二人の間には

子どもがいたこと。しかしそれは

現在の著者にとって、若き日の波

郷の恋物語として、ほほえましく

思えること……

静かに父を見直そうとしながら

も、時には激しい、時には懐しい

思いが、美しく、端正な文章のす

みずみから流れてくる。

まるで十二の良質な短篇小説を

読んだときのような、充実した読

後感を味わえる本書は、『わが父

波郷』（小社刊/本体三三〇〇円）

に優るとも劣らない秀作といえ

る。波郷未発表句の採付き。

（四六判 二二七頁 本体三三〇

〇〇円）

ってヴァイキングについて理解す

るには、略奪遠征の冒険的なエビ

ソードだけではなく、むしろ彼ら

が故郷で日ごろ営んでいる生活や

文化、その等身大の姿に目を向け

なければならぬ、という立場を

本書は基本とする。

そして、農民かつ漁師、巧みな

職人・芸術家、なにより有能な商

人であり、勇敢な戦士でもあるヴ

ァイキングの多様な姿を明示す。

そこで著者は繰り返し強調する。

ヴァイキングとは北欧の故郷にお

いては一般的な人々、普段は農民

であり、その生活の一部として船

に乗り、季節的に交易活動（それ

が時に海賊行為となる場合もある）

を行なう、いわば自分の農場を離

れた稼ぎの北歐人なのだ。したが

ることもあれば、異境で命を落

とすこともあった……。

そこで著者は繰り返し強調する。

ヴァイキングとは北欧の故郷にお

いては一般的な人々、普段は農民

であり、その生活の一部として船

に乗り、季節的に交易活動（それ

が時に海賊行為となる場合もある）

を行なう、いわば自分の農場を離

れた稼ぎの北歐人なのだ。したが

## 山車祭りの画期的論考

「山・鉾・屋台の祭り 風流の開花」

植木行宣 著



は拍子すなわち囃すもの

に始まる。山鉾がその

の原型を固めたのは室

町時代に入ってからで

あるが、山鉾の祭りは

市民の協同をつむぎ、

都市の景気を象徴する

ものとして山口等の中

山・鉾・屋台

世都市に流布した。しかしその流れは、

一斉に成立した近世都市には直接およ

ばず、その祭りは等しく風流拍子物の

近世版といへば、織物の祭りとして始

まった。そして江戸中期以後、成長する

市民たちが規制と逸脱のはざまですれ

を構成する出し物を選択的に育て、そ

こに自ら楽しむ山や屋台中心の新た

な都市祭りを展開したことを明快

に論じている。なかでも、囃されるもの

と囃すものに大別し、三系列九タイプ

に類別した山鉾の分類は、その特質を

的確にとらえて益する所大である。

これはまさに、歴史的研究が権力論

に傾き、民俗学のそれが折口の依代論

を一步も出ない停滞をうち破る画期的

な論考であり、今後の基礎となり指針

となるものである。（菊判 五三二頁+

カラー一五頁 本体二六〇〇円）

## 戦後演劇史を克明に辿る労作

「日本現代演劇史 昭和戦後篇」

大笹吉雄 著 全8巻/完結



本篇は、昭和二十六年から二十九年ま

でを対象とする。「明治・大正篇」から始

まった全八巻、九千枚、二十五五年を掛けて

の演劇史の完結編である。

激動する社会情勢と呼応するかのよう

に、この時期、演劇界も大きな波に揺れ

ていた。日本共産党が一派に分裂し、対

立・抗争したところである。また、新築・

落成した歌舞伎座の開場式が行なわれ、

戦後歌舞伎が本格的に再始動した。占領

が解け、日本の独立が回復したのもこの

時期であった。

『日本現代演劇史』既刊・重版出来

明治・大正篇 本体三三九一元

大正・昭和初期篇 本体一六〇〇〇円

昭和戦前篇 本体一八〇〇〇円

昭和戦中篇 本体一五〇〇〇円

昭和戦後篇 本体一八〇〇〇円

昭和戦中篇 本体一五〇〇〇円

昭和戦後篇 本体二〇〇〇円

## 限定復刊

表示価格は税別です。別途に消費税が加算されます。

101-0052 東京都千代田区神田小川町3-24 / 振替00190-5-33228 / 電話03-3291-7811 / http://www.hakusuisa.co.jp

## 白水社の本棚

# ベルグマン全集

[全9巻]

限定700セット 好評発売中 締切迫る!

哲学はもとより、文学、芸術、科学など文化全般にわたって大きな影響を与えた「生の哲学」の天才的洞察を集大成。

四六判/平均三四四頁  
セット本体三八〇〇〇円 (分売不可)

### 全巻内容

- 時間と自由 アリストテレスの場所論 平井啓之他訳 三四六頁
- 物質と記憶 田島節夫訳 三二四頁
- 笑い/持続と同時性 鈴木力衛他訳 四二四頁
- 創造的進化 松浪信三郎他訳 四三四頁
- 精神のエネルギー 渡辺秀訳 二五四頁
- 道徳と宗教の二源泉 中村雄二郎訳 三九二頁
- 思想と動くもの 矢内原伊作訳 三三九頁
- 小論集 花田圭介編 三八四頁
- 小論集 松浪信三郎編 三一八頁



本全集は分売いたしません。注文が満数になり次第、締め切らせていただきます。ご了承ください。小社に直接お申し込みの場合は、代金前払いとさせていただきます。

# 冒険的エッセー

## 「ブルースト 母親殺し」

ミシェル・シュネデール 著



本書はブルーストの評传的エッセーであるが、(原題『ママン』)が示すように、母親とマルセルの関係が主軸に据えられたものである。母親がブルーストの精神に多大な影響を及ぼしたことは広く知られた事実であり、どの伝記もジャンヌ・ブルースト夫人に相当のペー

ジを割いている。しかし、書簡、初期作品『ジャン・サントウイユ』、『サント・ブーヴに反論する』、『失われた時を求めて』、各種の回想・評伝をくまなく精査して、母親との関係にこだわった本は今のところない。シュネデールは作家の心性と小説世界を並行的に読み解き、ママンとの息づまる関係をあぶり出してゆく。

そして、この本のねらいはたんに作品分析や実証的史料分析ではなく、「親殺し」「両親の冒険」に「対象に肉薄する(……)鋭い分析は、つい見落としがちだが、観念から、ブルーストがいかにして母からの(母への)愛を乗り越えて作品創造へと向かうのかを跡づける点にある。」

「同性愛であること」「作家になること」という存在論的なふたつの問題に「ユダヤ人である」というキーワードを加え、一つひとつのエピソードを洗い直してゆく筆づかいが小説的とも言うべく、きわめて興味をそそるものである。

『グレン・グールド 孤独のアリア』『シューマン 黄昏のアリア』で知られる鬼オシュネデールによるこのスリリングなエッセーの「対象に肉薄する(……)鋭い分析は、つい見落としがちだが、観念から、ブルーストがいかにして母からの(母への)愛を乗り越えて作品創造へと向かうのかを跡づける点にある。」

「訳者あとがき」より。(吉田城訳 四六判 二七〇頁 本体三二〇〇円)

受賞作家が、傑作評伝劇をつむぎあげた。これぞ、芝居で楽しむフランツ・カフカ。

作家とその友人の交友関係を軸に、カフカを「探偵」しながらカフカをめぐる女たち、三人の恋人(フェリーツェ、ミレナ、ドーラ)と妹のオットラ に対してモスボットライトをあてて、彼女たちの実像にも迫ってゆく。

人気漫画家の内田春菊やグラビア女優の小沢真珠らを迎えて公演され評判を呼んだ舞台作品、そのための書き下ろし新作にあたる本書は、「赤毛物戯曲」のネクストレベルを画した、著者渾身の一作である。(四六判 一七四頁 本体一八〇〇円)

# 芝居で楽しむフランツ・カフカ伝

## 「カフカズ・ディック」

ケラリーノ・サンドロヴィッチ[作]



一九二〇年代なかば、ウーン郊外にあるサナトリウムの一室で、一人の男が静かに息をひきとった。彼の名はフランツ・カフカ、売れない作家である。

「フランツ・カフカは『城』『審判』『変身』等、謎めいた小説を書き続け、一九二四年、四二歳の誕生日を目前にして世界した。その作品のほとんどは彼の死後に発表されたものであり、生前、労働者災害保険局の局員だった彼を作家と見なした人間は、ごくごく少

数だった(本書より)。

そして、作家であり編集者であるカフカの親友、マックス・ブロートは、そんな数少ないカフカの理解者のひとりだ。ブロートはカフカの作品を世に出そうと報われない努力をしていたが、やがて彼が亡くなると、その遺言で、彼が書きつづけた作品をすべて焼却してもらいたいと託される。しかし、ブロートが暮らしていた部屋からは、あるべき原稿が消えており、その原稿を探そうと、ブロートは夢とも幻ともつかぬ不思議な世界へと迷い込んでしまう……。

『カフカ小説全集』(小社刊)の読者には馴染み深い史実を物語の背景にしつつ、岸田國士戯曲賞

利用して短いドラマを作る『《この地方の伝承》伝説を調べると様々だ(本書、あしがき)より』、静岡県袋井市から要請を受けて著者が手がけた 市民演劇 に基づく本作には、遠州弁 が登場する。その魅力のゆえんやワークショップの実際を解説するため、「新しい演劇の作り方」と題された上演の手引きも、同時併録

『14歳の国』の著者がつむぐ、高校演劇の新たな定番作品。高校演劇の現場での実用性にも供するべく、いくつかの場面の台詞や、「効果音」および「劇中歌」(カラオケつき)を収めたCDが、付されている。(四六判 一八二頁 本体一八〇〇円)

『カフカ小説全集』(小社刊)の読者には馴染み深い史実を物語の背景にしつつ、岸田國士戯曲賞

利用して短いドラマを作る『《この地方の伝承》伝説を調べると様々だ(本書、あしがき)より』、静岡県袋井市から要請を受けて著者が手がけた 市民演劇 に基づく本作には、遠州弁 が登場する。その魅力のゆえんやワークショップの実際を解説するため、「新しい演劇の作り方」と題された上演の手引きも、同時併録

# 青春のよみに味わえる

## 「月の教室」(CD付)

宮沢章太 作



青い空の月。／きつと誰かも見ているらう。／遠いどこかで、あの白い月を(劇中歌より)。

窓から月が見える午後の教室を舞台に、「高校演劇部の3人の女子」たちが中心となって、物語は進む。そして彼女たちが通っている学校のまわりで語りつがれる「へ」神社とゆずの木様の伝説を

「へ」神社とゆずの木様の伝説を、おりませながら、「新婚夫婦の揺れ

る気持ち」が描かれてゆく。

『14歳の国』の著者がつむぐ、高校演劇の新たな定番作品。高校演劇の現場での実用性にも供するべく、いくつかの場面の台詞や、「効果音」および「劇中歌」(カラオケつき)を収めたCDが、付されている。(四六判 一八二頁 本体一八〇〇円)

『カフカ小説全集』(小社刊)の読者には馴染み深い史実を物語の背景にしつつ、岸田國士戯曲賞

利用して短いドラマを作る『《この地方の伝承》伝説を調べると様々だ(本書、あしがき)より』、静岡県袋井市から要請を受けて著者が手がけた 市民演劇 に基づく本作には、遠州弁 が登場する。その魅力のゆえんやワークショップの実際を解説するため、「新しい演劇の作り方」と題された上演の手引きも、同時併録

『カフカ小説全集』(小社刊)の読者には馴染み深い史実を物語の背景にしつつ、岸田國士戯曲賞

利用して短いドラマを作る『《この地方の伝承》伝説を調べると様々だ(本書、あしがき)より』、静岡県袋井市から要請を受けて著者が手がけた 市民演劇 に基づく本作には、遠州弁 が登場する。その魅力のゆえんやワークショップの実際を解説するため、「新しい演劇の作り方」と題された上演の手引きも、同時併録

# カフカの手稿の前半部分を収録

## 「カフカ小説全集 万里の長城ほか」

池内 紀 訳 【白水社創立85周年記念出版】



カフカは死に際して、友人マックス・ブロートに自分の草稿など、いっさいを焼却するよう言い残した。しかし(四六判 三九六頁 本体三四〇〇円) 遺言を守らなかつた。カフカの『既刊』 失踪者 三五〇頁 本体一八〇〇円 審判 三三三頁 本体一八〇〇円 城 四九〇頁 本体二九〇〇円 変身ほか 三七三頁 本体一八〇〇円

『既刊』 失踪者 三五〇頁 本体一八〇〇円 審判 三三三頁 本体一八〇〇円 城 四九〇頁 本体二九〇〇円 変身ほか 三七三頁 本体一八〇〇円

『既刊』 失踪者 三五〇頁 本体一八〇〇円 審判 三三三頁 本体一八〇〇円 城 四九〇頁 本体二九〇〇円 変身ほか 三七三頁 本体一八〇〇円

『既刊』 失踪者 三五〇頁 本体一八〇〇円 審判 三三三頁 本体一八〇〇円 城 四九〇頁 本体二九〇〇円 変身ほか 三七三頁 本体一八〇〇円

『既刊』 失踪者 三五〇頁 本体一八〇〇円 審判 三三三頁 本体一八〇〇円 城 四九〇頁 本体二九〇〇円 変身ほか 三七三頁 本体一八〇〇円

# 戦前の傑作中篇と短篇の集大成

## 「ユルステールセレクション」全6巻

岩崎 力 編 堀江敏幸 全巻解説

### アレクシスとどめの一撃

### 夢の貨船

### 流れる水のように

### 火ノ東方綺譚ノ青の物語

### 流れる水のように

### 火ノ東方綺譚ノ青の物語

### 流れる水のように

### 火ノ東方綺譚ノ青の物語

### 流れる水のように

### 火ノ東方綺譚ノ青の物語

### 流れる水のように

### 火ノ東方綺譚ノ青の物語

### 流れる水のように

### 火ノ東方綺譚ノ青の物語

### 流れる水のように

### 火ノ東方綺譚ノ青の物語

### 流れる水のように

### 火ノ東方綺譚ノ青の物語

版全集である。

本書は、カフカがノットに残した手稿の前半部分を収録してある。カフカが書いた姿に限りなく近い形で忠実に再現されている。したがってカフカの作品の成立過程がはつきりと見てとれる。カフカが作品をいかに作り上げていったか、その作品の生まれるプロセスがよくわかる。小説家カフカの秘密、未知の面白さを発見することができるといえる。

『既刊』 失踪者 三五〇頁 本体一八〇〇円 審判 三三三頁 本体一八〇〇円 城 四九〇頁 本体二九〇〇円 変身ほか 三七三頁 本体一八〇〇円

『既刊』 失踪者 三五〇頁 本体一八〇〇円 審判 三三三頁 本体一八〇〇円 城 四九〇頁 本体二九〇〇円 変身ほか 三七三頁 本体一八〇〇円

『既刊』 失踪者 三五〇頁 本体一八〇〇円 審判 三三三頁 本体一八〇〇円 城 四九〇頁 本体二九〇〇円 変身ほか 三七三頁 本体一八〇〇円

# 白水社の本棚

101-0052 東京都千代田区神田小川町3-24 / 振替00190-5-33228 / 電話03-3291-7811 / http://www.hakusuisha.co.jp

# 限定復刊

表示価格は税別です。別途に消費税が加算されます。

# デカルト著作集

【全4巻】増補版

限定70セット 好評発売中 締切迫る!

『方法序説』にはこれにともなう『試論』『省察』には『反論と答弁』を付し、また増補によって著作のほぼすべてを収録した決定版。

A5判/平均五四〇頁 セット本体三〇〇〇〇円 (分売不可)

## 全巻内容

- 方法序説 試論「屈折光学」「気象学」「幾何学」 三宅徳重他訳 五〇〇頁
- 省察 反論と答弁1〜6 所羅重他訳 五八八頁
- 哲学原理 情念論 書簡集 三輪正他訳 五五〇頁
- 精神指導の規則 宇宙論 人間論 真理の探求 ビュルマンとの対話 平和の訪れ(舞踊劇) 思索私記 音楽提要 掲帖文書への覚え書 大出豊他訳 五八四頁



本著作集は分売いたしません。注文が満数になり次第、締め切らせていただきます。ご了承ください。小社に直接お申し込みの場合は、代金前払いとさせていただきます。

「CD活用フランス語の入門」

石野好一 [著]

本腰をいれてフランス語をものにしたい、と考えている人のための、待望ひさしいCD付きの本格的文法入門書です。「準備の章」でフランス語の文章構造の基本を見渡したのちに、名詞、冠詞と進む伝統的な文法学習の長所を生かしながら、「なぜ？」という視点を盛りこんで知的な楽しさを味わわせるといふしかけは、大人になってからの文法学習のニュースタンダードといえるでしょう。CDには、用例の前に、日本語でポイントとなる用語や解説が録音してありますから、通勤・通学の途中で耳から文法を復習することができるうえ、そのまま日常に応用できるような生き生きした例文を選んでいますので、表現力も自然に身につきます。巻末に仏検4級対応の「まとめの問題」「単語集」「索引」付き。

(2色刷) A5判 227頁 本体2200円【CD付】

.....文庫クセジュ.....

【0844】 時間生物学とは何か?
ラン・レンベール 著
単細胞真核生物からヒトにいたるまで、あらゆる生物は周期的なリズムを潜在させている。生物の時間構造とその変動について研究する学問の実際を、豊富な実験レポートをもとに、基礎から応用まで丁寧に紹介してゆく。
本書には、医学と理学の博士号を持ち、医学生理学者としてフランス国立科学センターの研究指導教授を務める著者(一九二二年生)のライフワークとも言うべき研究成果が凝縮されている。「体内時計」の謎に迫る、周期的なカイトブックだ。(松岡芳隆・松岡慶子訳 新書判 一七二頁 本体九二〇円)

【0845】 ヨーロッパの超特急
エリック・シノッティ、ジャン・パティスト・トレブル 著
TGV、AVERE、ICE、ユーロスター、タリス、ヨーロッパの主要都市を結ぶ超特急列車たち。本書は、それら高速鉄道が誕生してきた歴史的背景や技術的諸問題を詳しく、それぞれの魅力に迫り、ヨーロッパ鉄道の将来的な展望を具体的に描いてゆく。
はたして振り子列車は高速列車の代わりとなるのか、といった鉄道ファンをも唖然させる問題提起ももちろん、ヨーロッパ経済における「乗り物の未来像」を提示してくれる。EUの鉄道状況がまるごとわかる、必読の一冊だ。(瀧口博隆訳 新書判 一七〇頁 本体九二〇円)

第23回 サントリー学芸賞受賞!
河合祥一郎著 ハムレットは太っていた!
元祖シェイクスピア役者たちの肉体的特徴を手がかりに、劇中人物の意外なシルエットを浮かびあがらせる知的興味に満ちた本。 本体2800円

本の十字路
翻訳でむやみにルビを振るなというのはいがいの指圖書の教えるところ。近刊の小鷹信光著「翻訳という仕事」(ちくま文庫)も実例をあげていまして、たしかに、ルビのせいで誤訳が露呈することもあって、ルビが冴える名訳などという評は、昨今耳にしな。けれども半世紀ほど前の洋モノには、翻訳に限らず、どんなルビが振ってあるか、というよりルビを見て日本語を味わう楽しみがバカとルビは使いつつ、

旅人の心を魅了するヴェネツィアの宵、月のひかりに誘われるかのよう、夜風に流れくるフェニーチェ劇場からのアリアに耳を傾けながら、思いめぐらすはかな記憶「魔法のように目前にあらわれたその光景、それを包んでいる音楽が、忘れかけていた古い記憶にかさなった……」

【0844】 「ヴェネツィアの宿」
白水Uブックス1054
関西に生まれ、カトリック系の女学校で過ごした少女時代から、パリでの孤独な留学時代、つねに自分を見つめていくれた父の死にいたるまでの、父親と親族をめぐる葛藤、自身の心の軌跡を描いた自伝的エッセイ。(新書判 二六八頁 本体九五〇円)

【0845】 「ミラノ 霧の風景」
白水Uブックス1057
記憶の中のミラノには、いまもあの霧が静かに流れている。ミラノをはじめ、各地で出会った多くの人々を通して、イタリアで暮らした遠い日々を回想し、人、町、文学とのふれあいを、言葉にならぬため息をつくる追憶のエッセイ。時の流れが記憶の中で凝縮され、

【0846】 「ユルスナールの靴」
白水Uブックス1056
「きつちり足に合った靴さえあれば、じぶんはどこまでも歩いていけるはずだ」との思いにとらわれていた著者は、やがて西欧文学の知性のひとつを代表する女性作家の世界への巡礼の旅にでる。「ユルスナールのあとについて歩くような文章を書いてみたい」、その

【お願】
住所表記が変更になりましたら、御名前、新住所・旧住所、お届けいたしております本紙のお客さまコードをお知らせください。

【0847】 「ロシア書店の仲間たち」
白水Uブックス1053
ミラノの大聖堂の近く、サンカル口教会の軒先を借りるようになって作られた小さな本屋があった。その名はロシア・ディセルウィ書店。ここには個性的で魅力的な人々が集まって来るのだ。書店のバトロンド、未婚の老女テレサ、大聖堂でインターナショナルを歌って物議を呼んだ

【0848】 「トリエステの坂道」
白水Uブックス1055
ジェイムズ・ジョイス、ウンベルト・サバなど多くの文学者の記憶を秘めた町、トリエステ。このアドリア海沿いの辺境の町への旅立ちにはじまるエッセイは、亡き夫ベッピーノをはじめとする、なつかしき人々との出会いと別れ、幾たびかの喪失をつづる、思い出の記。

【0849】 「ユルスナールの靴」
白水Uブックス1056
「きつちり足に合った靴さえあれば、じぶんはどこまでも歩いていけるはずだ」との思いにとらわれていた著者は、やがて西欧文学の知性のひとつを代表する女性作家の世界への巡礼の旅にでる。「ユルスナールのあとについて歩くような文章を書いてみたい」、その

【0850】 「ユルスナールの靴」
白水Uブックス1056
「きつちり足に合った靴さえあれば、じぶんはどこまでも歩いていけるはずだ」との思いにとらわれていた著者は、やがて西欧文学の知性のひとつを代表する女性作家の世界への巡礼の旅にでる。「ユルスナールのあとについて歩くような文章を書いてみたい」、その

白水Uブックス
須賀敦子コレクション
ロシア書店の仲間たち

白水社
編集
毎日仕事で書店に出かける私のような者にとっても、オンライン書店は便利だ。書名をうる覚えでもいくつかのキーワードから目当ての本を検索することができるのは、非常にありがたい。さらに最近では、独自の切り口から本を紹介してくれる、こだわりを持ったサイトも増えた。有名書店だけでなく、地方の小さな本屋さんからびっくりするくらい内容の濃い情報が発信されているから見逃せない。今のところオンライン書店のユーザーは都市型消費者が多いよつだが、近所に本屋さん

白水社の本棚
101-0052 東京都千代田区神田小川町3-24 / 振替00190-5-33228 / 電話03-3291-7811 / http://www.hakusisha.co.jp

辞典
表示価格は税別です。別途に消費税が加算されます。
定評ある、オールラウンドな学習辞典
現代フランス語辞典 (第2版)
中條屋進 / 丸山義博 / G.メランベルジェ / 吉川一義編
B6変型 / 1788頁 / 2色刷 3800円 / 別売CD1460円
【語数】35000 【発音表記】発音記号 + カタカナ
愛称「ル・ディコ」。フランス人との共同編集で、一番わかりやすく、入門から『ル・モンド』まで読める辞典。
こんな人におすすめ 大学(特に外国語カリキュラム2年間) / 一般

超ビギナー向け、いたれりつくせりの入門辞典
パスポート初級仏和辞典 (第2版)
内藤陽哉 / 玉田健二 / C.レヴィ アルヴァレス編
B6変型 / 391頁 / 2色刷 2400円 / 別売CD1460円
【語数】5000 【発音表記】カタカナ(分節表示付き) + 発音記号
検索の楽な変化形見出し、カナ発音、冠詞つきの実践的用例、行き届いた語法注・文法解説・ミニ百科欄等の親切設計。
こんな人におすすめ 中学・高校から / 外国語カリキュラム1年の大学・短大 / 活字が大きいので年輩者にも

フランス語で「発想」できる、読んで面白い革命的辞典
白水社 ラレース仏和辞典
三宅徳嘉 / 六鹿 豊監修
B6変型 / 1277頁 4200円 【大活字版】菊判変型 8800円
【語数】8000 (見出し語に分類表示付き) 【発音表記】発音記号 (分節表示付き)
ラレース社の外国人向け辞典を基に、読み、書き、話す、総合的視点からフランス人の思考プロセスを追究。
こんな人におすすめ 大学(仏語専攻・表現主体のカリキュラム) / 国際的な場で働く実務家 / 仏語愛好家

旅行に便利! 「仏和」+「和仏」+「会話」
パスポート仏和・和仏小辞典
内藤陽哉 / 玉田健二 / C.レヴィ アルヴァレス編
B小型 / 635頁 / 2色刷 2500円
【語数】仏和15000 + 和仏5000 【発音表記】カタカナ
カナ発音の「仏和」+ 用例入り本格「和仏」+ 実戦「会話集」の多機能辞典。多彩な情報をスリムなボディに凝縮。
こんな人におすすめ 旅行者 / 一般 (備忘携帯用)